

私（ぼく）と、お友だち

園庭で園長先生を見つけると、何か楽しいことがまっていそう☆…と
まるでカルガモの親子のようについてまわる子どもたちです。
「せんせい、みて」「せんせい、きて！」自分の存在を認めてと一生懸命アピールします。



はじめは園長先生がしてくれる楽しい事に、
それぞれが大うけの子どもたちです。

しばらく楽しそうな表情を見ていると、
遊びを繰り返すうちに、お友達の笑い声につられ、
笑っている顔を見て更に大笑いする様子がありました。

お友達の見える姿に影響を受け、
「私は私」の心と、「私は私たち…」の心
どちらの心も育っているのだと感じました。

様々な経験が子どもたちの心に貯まっていくのを見逃さず、子どもたちと楽しみを存分に共有していきたいと思います。

R4・4・22



大笑いしながら、
お友達の表情を確認しています👁️

お友だちが笑っていて
もっと楽しい♪